

沖縄にこんな電車を 走らせよう!

100円

税込み

MOTOBU

NAGO

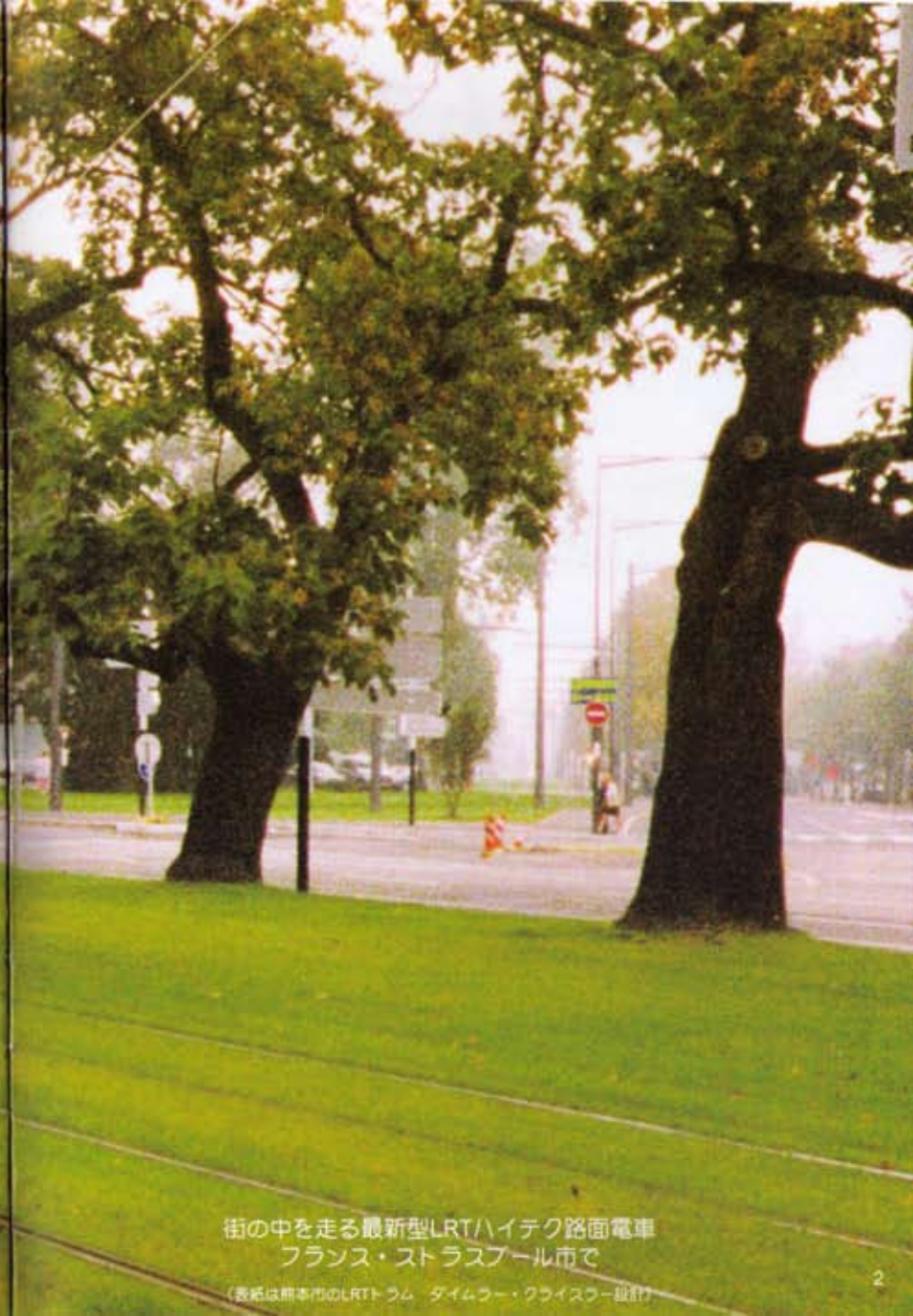


ITOMAN



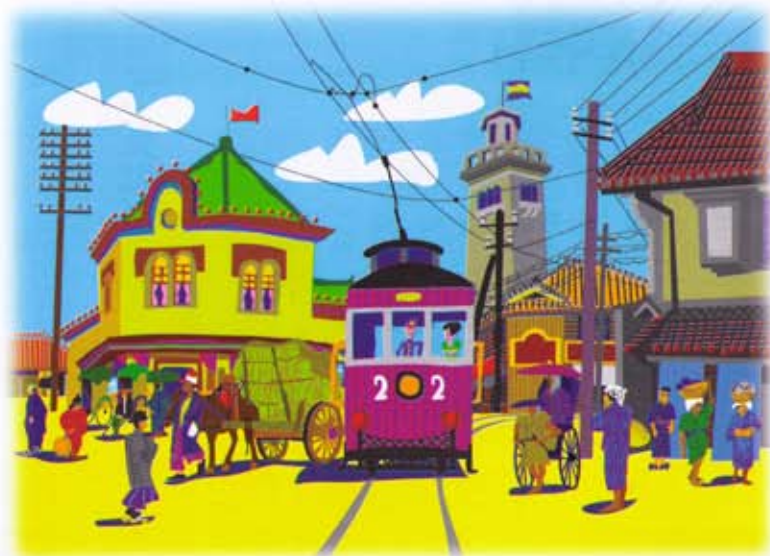
MABUNI

ゆたかはじめ & うまんちゅ鉄道応援団



街の中を走る最新型LRTハイテク路面電車
フランス・ストラスブール市で

(表紙は熊本市のLRTトラム タイムラー・クワイスラー社刊)



昔的那覇の街を走っていたチンチン路面電車【見世の前】

絵：松崎洋作

車体は木で作られていました。とても珍しかったので、遠くからも見物に來ました。初めて見た人は、やあ戸棚が走ってきた、と言って驚いたそうです。首里への坂道は急で、電車は一所懸命登っていきました。その代わり下るときは楽ちんで、ずいぶんスピードが出たそうです。

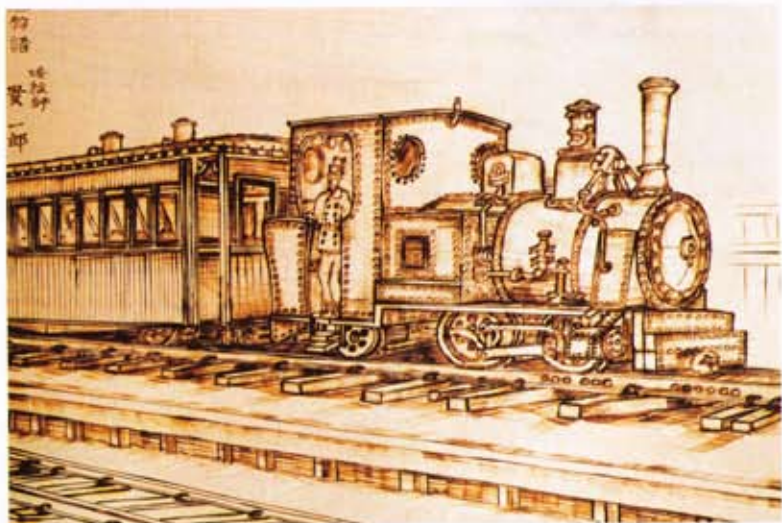
昭和の初めになると、那覇の街にも路線バスが走り出しました。いまと違って道路がすいていましたから、バスはスイスイと走って行きます。電車はともかないません。とうとう競争に負けて、昭和八年（一九三三）には消えてしまったのです。とても残念なことでした。いまではバスがノロノロするようになってしまいましたね。



も う、ずっとおかしなことですが、沖縄にも電車があつたんですよ。那覇の港から、首里の丘の上まで、ゴトゴト走っていました。この電車ができたのは、大正三年（一九一四）のことでした。同じ年にできた軽便鉄道より、電車のほうが少し早かったのです。下の地図を見てください。どんなコースを通っていたかがよく分かります。通堂から出た電車は、市場や銀行、お役所がある街なかを走り抜け、泊高橋のところで大きく右に曲がり、崇元寺の前を通って首里へ向かい、山川が終点でした。路面電車といって、道の真ん中にレールがあり、その上をチンチンと発車合図の音を鳴らしながら、お客を乗せてゴトゴト走るのです。



那覇市全圖 大正14年(1925) 地図提供：吉山順子



昔の沖縄を走っていた軽便鉄道ケイビンの面影 沖縄鉄道物語 焼絵師 貴一郎

軽便鉄道には、那覇の街に買い物に来る人たちが、学校に通う男女の生徒さんたちが、いっぱい乗っていました。サトウキビをのせる貨車もありました。それも、ただ人や物を運ぶだけではなく、暮らしの中に生きていたのです。駅はユンタクの場で、みんなからケイビンと呼ばれ、親しまれていました。スピードはあんまり速くなかったけれど、沖縄の風土によく合っていたのでしよう。坂道にさしかかると、力が足りなくて登れません。もう一度火力を強めてやり直したという話も残っています。あの戦争で沖縄が砂漠になるまで、三〇年以上も走り続けたこの鉄道は、激しい戦いの中でメチャクチャにされ、とうとう消えていったのです。



軽便汽車乗てい
まーかいが
那覇めまちぐわめ 樽皮屋
買って戻やい 砂糖代
だてーん儲きてい
家ふちゆん
シタイ！ あひ小
ちばりよー
鳴ゆる汽笛ん
アフィーー！ アフィーー！
シタンガラガラ
シタンガラガラ



沖縄管内地図 大正14年(1925) 地図提供：吉山順子

沖縄には、こんな唄にまで歌われた軽便鉄道もありました。当時の古い地図が残っています。那覇から与那原、嘉手納、糸満へと、三本の線路がありました。ドイツ製などの蒸気機関車が客車をひき、ポツポツと煙を吐いて走っていました。





スイス・チューリッヒ市の目抜き通りを行くトラム



ひめゆり学徒隊で散った女学生の中には、汽車通学をした人もいました。戦争が終わり、平和がきても、この鉄道は復活しませんでした。アメリカは鉄道より自動車が好きだったんです。こうして、この狭い沖縄に車がどんどん増え続け、今では八三万台にもなってしまいました。

どこへ行っても渋滞で、ノロノロ運転が続きます。排気ガスで、沖縄の青い空も汚れてきました。駐車場も満杯で、街はさびれる一方です。運転するとお酒は飲めないし、疲れて恐ろしい事故も起こしてしまいます。車を持ってない人、動かせないお年寄りや体の弱い方、子供たちもみんな困っているじゃないですか。一体、どうしたらいいんでしょうか。



安里・女学校前で立体交差していた軽便鉄道と路面電車

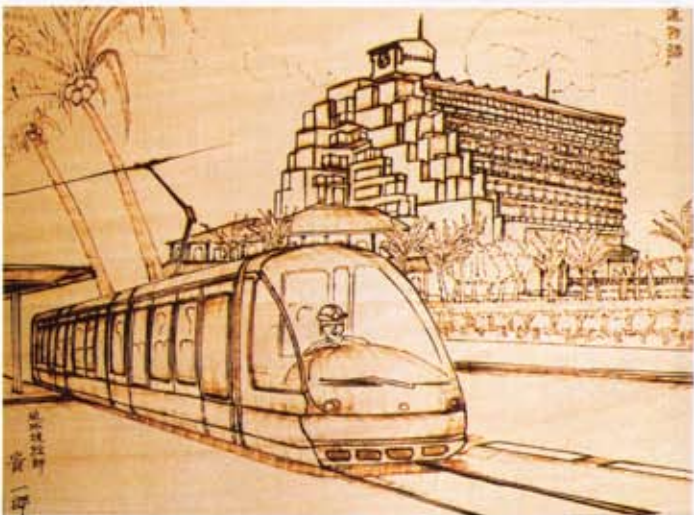
絵：松崎洋作

ヨーロッパの多くの都市には、トラムという、とてもすてきな路面電車が走っています。車を中心部に入れない街づくりをしているのです。みんな郊外でトラムに乗り換え街に入り、買物や食事などをゆつくり楽しんでいきます。

そのおかげで街の中は、車の渋滞もなければ駐車場もなく、騒音も排気ガスもありません。小鳥やせせらぎの音も聞こえます。それでいて商店街は、歩く市民や観光客でとても賑わっているんです。歩道が広く、信号もなく、自由に横断できて、やすらぎがあるからでしょう。

車のような効率の悪い個人の乗物よりも、車に頼れない人たちにも優しいみんなの乗物を、もっと大事にしようという気持ちをはっきりしています。





沖縄のリゾート西海岸にこんなニューケイビンが走ったらいいな
沖縄鉄道物語 焼絵師 貴一郎

このトラムは、ハイテク技術をもった路面電車で、LRTといえます。ニューケイビンといったところでしょうか。床が低く、バスのような階段がないので、街角ごとの停留所で楽に乗り降りできて、とても便利です。狭い路地へのカーブも、急な坂道もへいちゃらです。JR電車のような駅や線路は要りません。道路の真ん中や端っこ、芝生の道、基地の中、どこでもレールが敷けます。街を水平に走る「横に動くエレベーター」なのです。

郊外に出ると、スピードを上げて遠くまで走れます。LRTは、町と町とを結び、橋脚も要らないから、安く作れるし、採算も案ずることはないでしょう。



ドイツ・フライブルグ市内を静かに走るトラム

熊本や広島では、もうLRTトラムを試験的に数台取り入れていきます。

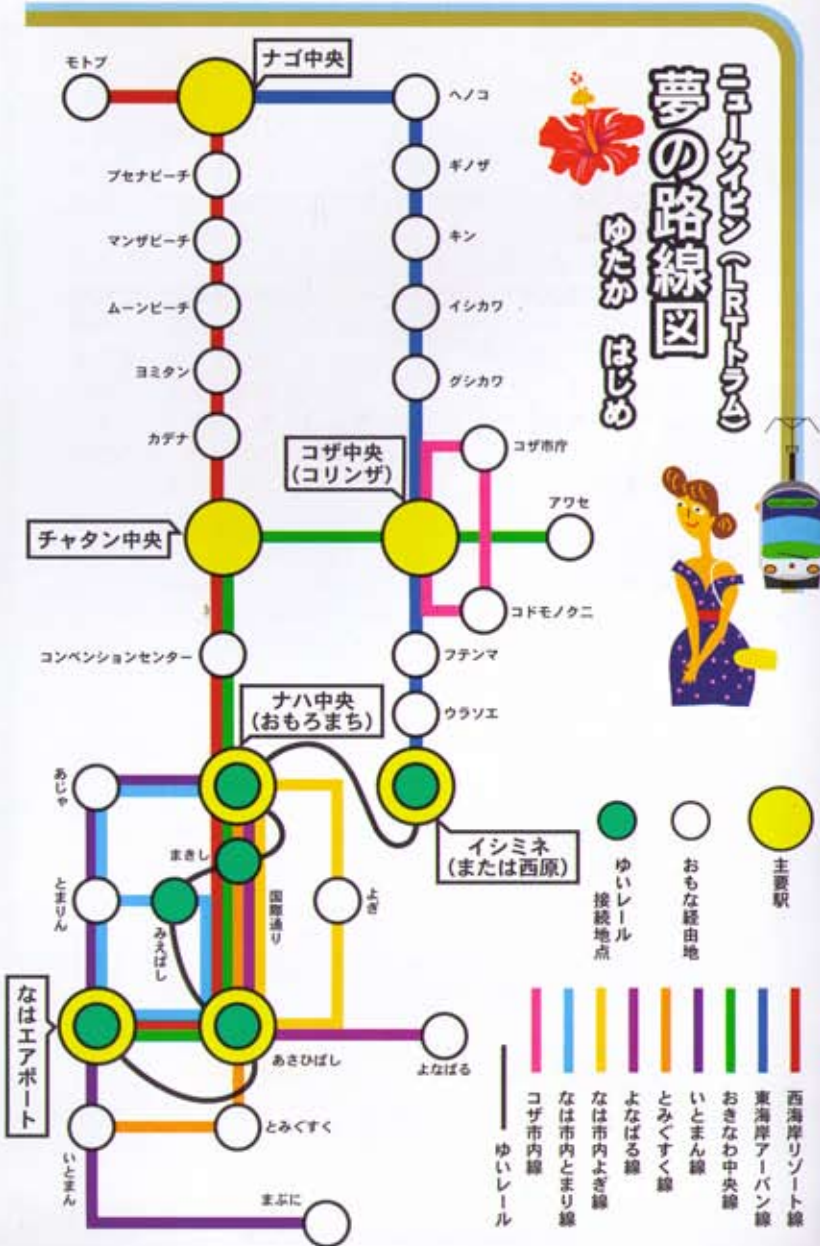
今では、ヨーロッパの自動車会社はその技術を活かし、トラムや電車を作るようになってきました。時代や考え方は、そこまで変わってきたのです。

沖縄は長寿の土地柄です。子供から学生さん、お年寄り、そして体の不自由な方も、みんなが安心して楽に乗れる電車があったら、どんなにいいでしょう。元気な人も観光客も、きっと喜びますよ。

二一世紀の沖縄に、こんな夢のあるニューケイビンを走らせましょう。

◎LRTトラムについて、もう少し詳しく知りたい方には、ゆたかはじめ著『沖縄に電車が走る日』ライオン社刊、をおすすめします。





LRTでつながる世界・広がる未来!!!

鉄道、路面電車は、世界中の多くの人々に愛されてきました。最近、環境や人に優しい乗り物として脚光を浴び、日本全国でも注目されている乗り物がLRT(Light Rail Transit)、次世代型の路面電車です。

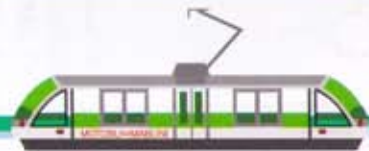
LRTは、街の中を静かに水平に移動するエレベーターのようなものです。超低床式で段差がなく、乳母車や車椅子、自転車が楽に乗り降りできる構造になっています。車の排気ガスや騒音、違法駐車や渋滞に苦しんだヨーロッパの都市では、車を街の手前のパークアンドライドという公共駐車場に止め、LRTに乗り換えて街を訪れてもらう工夫をしました。トランジット・モールといって、車での乗り入れを規制したのです。街の空気は綺麗で騒音もなくなり、気持ちよく歩いて過ごせるので、地元の人や観光客で賑わうようになりました。トランジット・モールは、これからの街づくりのキーワードになるでしょう。

鉄道の無い沖縄は、街や道路をはじめビルや住宅までが、車社会を意識した構造になっています。郊外には広い駐車場をもった大型ショッピングモールが幾つも誕生しました。

その周辺に住宅が密集して、車中心の街が出来上がります。昔から頑張ってきた小さな商店街や中心市街地から、お客様が遠のいてしまいました。都市部の空洞化と言って、街がさびれ、子供たちを含む人口が減ってしまう現象が起きたのです。

車が増えすぎて、今や沖縄に83万台。渋滞や排気ガス、騒音に交通事故、放置車両等の問題は深刻です。車だけに依存した街づくりや生活のあり方、便利な反面、厳しい問題を幾つも抱えています。解決の方法として、公共交通について考え、ライフスタイルを見直すときがきているのです。街をトランジットモールにし、LRTを取り入れて、沖縄の将来、子供たちの未来を明るくしてみませんか。

沖縄路面電車友の会 高江洲義公



21世紀“沖縄に電車”を走らせよう!

20世紀トンネル



ニューケイビンの歌

作詞 三木 健・ゆたか はじめ

ニューケイビンは
未来を駆ける
夢乗せ走る
青い海原
甘なつかし
思いも乗せて
アフィアフィーの
ウマンチュミンが
ハイテク号
島駆ける
新世紀
眺めつつ
ケイビンの
島駆ける
声がして
呼んでいる

ニューケイビンは
希望が走る
暮らしを変える
青い大空
電車待つ間の
心もはずみ
アフィアフィーの
ウマンチュミンが
ユンタク号
街走る
新世紀
見上げつつ
ナカユクイ
街走る
夢かけて
乗っている





電車が走ることを願う20万5千人の署名簿。リボンに期待を込め沖縄県知事に提出されました。(2001-春)

沖縄にこんな電車を走らせよう!

文+写真 エッセイスト ゆたかはじめ
デザイン+イラスト 松崎 洋作
焼き絵 焼絵師 貴一郎

協力 NPO沖縄南北縦貫鉄道を実現する会(高雄経営研究所内)
ただいまホームページ準備中
NPO沖縄路面電車友の会
www.npo-okinawa.net/romendensha/

発行 2001年6月10日 うまんちゅ鉄道応援団
代表 富本 実 PHS 070-6360-9915
沖縄市中央1-20-12 TEL 098-937-4423
事務局 浦崎路善 前田テル子

協賛 沖縄市社会福祉協議会
沖縄市商業活性化推進協議会
印刷 沖縄高速印刷株式会社

この冊子の無断複製、無断コピーは、堅くお断りします。

このかわいくてうすい冊子はうまんちゅ鉄道応援団の熱い思いで生まれました。

